

政治は「何をするか」ではなく、 「何をやったか」で決まる。

小泉農水相の「米」問題対応が語ること？

政治は結果責任だと言われます。国民の信託を受けて政策を遂行するわけですから「エサ発言」や「ルールを覚えろ」などの内外から文句を言っても、実際に「結果を出す」ことの重要性が多くの人に理解されました。

新しい発想・感覚が「競争入札」から「随意契約」へ変更させ「米」の流通の深い闇の経路まで表に出て来ました。

しがらみのないことが政治を変える

改革の原点は「しがらみのないこと」と発想力・発信力にあります。小泉農水相は業界・団体や自民党農政族議員との「もたれあい」が皆無で、「忸度しない」と言い切れる強みがあります。

都政改革はフレッシュな榎本で実践

政治の客観的な目的は、そこに住む人々の安全・安心を確保することだと言えます。そのためには、陳腐化した体制に喝を入れ、安定した自民党を再構築すべきです。榎本ふみこは、政治資金の流れを明らかにし、政策決定過程を開示しながら信頼に応える都政を実現します。

■ 基本政策

1. 安心安全なまちづくり

災害発生時の避難・備蓄と体制整備

2. 教育と福祉の充実

個性を伸ばす教育と高齢者介護の充実

3. 芸術・文教都市の実現

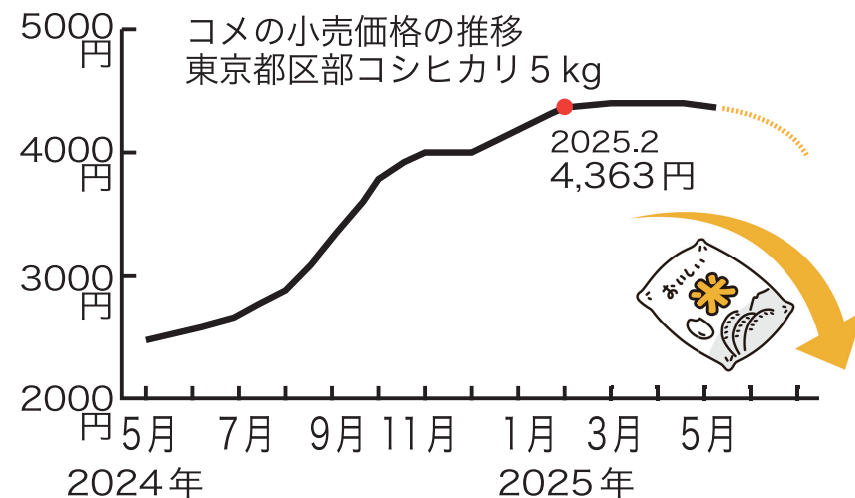
集会機能を持った都立文化会館の建設

4. 交通体系の見直し

日暮里舎人ライナーなどの混雑緩和と交通体系の見直し



小泉大臣の政治手腕で米価格の下落につながるか



都議選の投票は 榎本ふみこへ！



足立区のイメージアップ大作戦



今年の「足立の花火」は荒天のため中止。準備を進めていただけに残念。来年に期待しましょう。このイベントも足立区のイメージアップをはかるものでした。都内 23 区の中で低い評価だと言われる足立区を「住みたくなるまち」へ転換させるには「都政の光り（財力）を充てなくてはなりません。千住神社 1100 年、西新井大師 1200 年の歴史を刻んできたまちを新たな発想で輝くまちに変えていきます。



榎本ふみこ情報 OR